

ふるさと 通信員だより

vol.190

このコーナーでは、ふるさと通信員が取材した身近な地域的话题を紹介しします。なお、町では通信員を募集しています(活動はボランティアでお願いしています)。広報活動に興味のある人は、役場広報広聴課広報係(内線216)にご連絡ください。



大通12丁目の永井昌子さん(83)のお宅では、観葉植物や花々が鮮やかに咲き誇っています。日当たりの良いベランダでは、濃緑色の肉厚で光沢あるつややかな葉の間から伸びたオレンジや黄色の花を咲かせる君子蘭が6鉢、赤や真紅のゼラニウムやピンク色のキリシマツツジなど色とりどりに咲いています。キッチンカウンターには、空気を浄化すると言われているサンスベリアやゴムの木、玄関には白、赤、黄のカニバサボテンなど約30種類250鉢が並びます。

「新型コロナウイルス感染症が話題の今、特に心を癒してくれますよ」と語る永井さんのお部屋で、美しい花たちに囲まれ、たっぷり癒やされました。



たかだてつこ
高田徹子 通信員

色鮮やかな花たちに癒やされます



雄飛が丘南区の式見一米さん(72)と美和子さん(71)はご夫婦でスマートフォンを購入し、その活用を楽しんでいます。最近では町内に住む小学5年生のお孫さんに、無料通話アプリの使い方を教えてもらい、家族に趣味の登山時に撮った山頂の絶景写真を送ったり、会話を楽しんでいます。夏は往復8時間かかる夏登山に挑戦し、夫婦で登頂の感動と達成感を得ています。冬は国見山を中心にトレッキングも兼ねてアクティブに散策しています。

「20年以上も続けている登山の記録をもっと便利に収めたいと思い、使い始めたスマートフォンだが、家族とのコミュニケーションにも使えて毎日充実している」と笑顔で話してくれました。



いしだ ひさよ
石田尚世 通信員

夫婦でスマートフォンを活用